

## 第7回TUPRePクロストーク

グローバルヘルス・ガバナンス  
に関する最近の動向

2024年8月21日（水）

18:00 – 19:30（議論が続けば延長）

開催形式：対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド

対面会場：東北大学医学部6号館1階 講堂

星陵キャンパスMAP08 (<http://bit.ly/40GFWp7>)

- 参加者：東北大学の教員・学生 / 東北大学外の研究者・学生  
パンデミックに関する学際研究に関心のある方（若手研究者歓迎）  
できれば対面会場で討論に参加していただくことを推奨します
- 交流会：対面会場では終了後に簡単な交流会を実施
- 使用言語：日本語

参加登録

<https://forms.gle/FcArCxWKpwF3w9Yz6>

## 話題提供

## 概要

東北大学理事・副学長  
東北大学国際法政策  
センター長 植木俊哉東北大学大学院  
法学研究科  
教授 西本健太郎

## 「グローバルヘルス・ガバナンスの課題と進展」

東北大学大学院法学研究科 教授（国際法） 西本健太郎

本年5月に開催された第77回世界保健総会には、2022年から交渉が行われてきた国際保健規則の改正案と、パンデミックの予防、備え及び対応に関する新たな法的文書の最終的な条文案が提出される予定でした。前者については、第77回世界保健総会の会期中も交渉が継続され、最終日にコンセンサスにより改正案が採択されました。これに対して、後者については各国間の意見の相違が解消されず、交渉が継続されることになりました。本講演では、この2つの文書に関する動向を通じて、グローバルヘルス・ガバナンスをめぐる課題と最近の進展について検討します。